



JR東労組 (東日本旅客鉄道労働組合)
 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-24-1
 東日本旅客鉄道株式会社 代々木総合事務所 5階
 電話 03-5315-0941
 発行人 佐藤英樹 編集人 湯ノ目亜矢子
 月1回発行/一部20円
 (組合員の購読料は、組合費に含む)

2020年10月20日
 第715号



JR東労組ホームページは
 ←こちらからアクセス
<http://www.jreu.or.jp/>

『雇用と職場を守るためのJR東労組緊急提言』補足資料
 ~2021年3月期業績予測を分析し、緊急提言を全組合員で実践しよう~
 2020年10月12日 東日本旅客鉄道労働組合

2020年9月16日、JR東日本は2021年3月期の業績予測を発表しました。表社の業績予測はJR東労組が分析していたよりも悪い赤字となっています。業績予測を分析し、危機感を全組合員で共有し、「雇用と職場を守るためのJR東労組緊急提言」を全組合員で実践していくために緊急提言の補足を掲載いたします。

①5010億円の赤字と継続欠損

2021年3月期計画の業績予測は、単体で5010億円の赤字となっています。連年の赤字はJR東日本史上です。

しかし、営業利益が2640億円の赤字となり、赤字が少なくなっています。これは、「継続欠損」といって、赤字を繰り越すことによって、将来赤字になったときに利益と相殺することによって、利益にかかる法人税を減税できる制度です。法人税は赤字の時に利益がないため基本的に支払いません。JR東日本の場合、赤字の50%を10年間繰越しができますが、長期計画においては1000億円の赤字を繰り越す計画をしていることがわかりました。

項目	2020.3	2021.3	2021.3/2020.3
営業利益	26,400	12,510	-52.7%
経常利益	10,300	7,720	-24.9%
経常損失	-4,630	-7,370	-159.0%
経常利益	5,010	7,810	155.9%
経常損失	-	-5,320	-
経常利益	19,300	10,160	-47.4%
経常損失	5,000	8,000	60.0%
経常利益	14,300	2,160	-85.0%
経常損失	-4,180	-4,180	-

ホームページで見ることができます

赤字とコロナ禍を乗り越え、雇用と職場を守り抜くため、「雇用と職場を守るためのJR東労組緊急提言」を全組合員で実践しよう!

JR東労組は、JR東日本の第1四半期決算がJR発足以来初の赤字と発表されて以降、組合員の雇用と利益をどのように守るか、第1四半期決算の分析を行い、今後、会社によって赤字経営解消のために何が求められるのか、雇用を守るために何が出来るのか考えようと議論してきました。

JR東日本は9月16日、2021年3月期の業績予測を発表しました。2021年3月期計画の経常利益は単体で5010億円の赤字となっており、通期の赤字はJR発足以来初です。

JR東日本は、地代や人件費などの固定費の割合が高く、対前年80%の収入で黒字になります。会社の予測では、今年度末で定期収入は約85%に戻るとしていますが、定期外収入は来年度には定常状態で80%と予測しています。また、GOTTキャンペーンによる新幹線利用の増加や、コロナ、インフルエンザの影響、年明けにはワクチンが完成することを織り込んでいます。

しかし、今後の感染拡大状況やワクチン開発など、かなり不安定な要素といえます。このままでは赤字が解消できるギリギリのラインであることに変わりはありません。よって、コストダウンをしなければ鉄道事業は赤字が困難であるとの予測だということです。

一般的に2年連続で赤字が続いた場合には、赤字の恒常化と見られ、金融機関からの信用度が低くなり、多くの企業では融資が中止となるほか、会社が借りていた融資の一括返済が要求されます。よって、2年連続の赤字は何としても回避しようとする必要があります。そのためJR東日本も同様に2年連続の赤字の回避を課題としているのです。そのための施策も検討されていると考えなければなりません。

一方、会社が予測する未来が想定より悪い方向に進んでしまった場合にどうなるかを考えなければなりません。悪い方向に向かい私たち労働者の雇用に関する問題に発展しては困ります。私たちの雇用と職場、生活を守るために、赤字を乗り越えていく努力をしていかなければなりません。

各地本においても危機感を共有し、「雇用と職場を守るためのJR東労組緊急提言」(以下、「緊急提言」)の実現に向けて取り組みを進め、実践しています。

今一度明確にする節目として位置付け、各機関からの提言発表の前に地本から「第1四半期決算を分析し、赤字とコロナ禍を乗り越え、雇用を守り抜く」と問題提起を行いました。そして、赤字とコロナ禍を乗り越えるために、職場運動をつくり出していくことを確認し、「労働者の視点で描く『新しい生活様式』」(会社施策の検証運動)の2つのセッションで提言発表と議論を行いました。参加者からは「赤字に転落しても大丈夫だという、根拠のない安心感を持っていった」「経営悪化のしわ寄せは労働者になる」「危機感はあるが、何をすれば良いかわからない」など現状に対しての率直な意見が出され、赤字とコロナ禍を乗り越え、労働組合として組合員の雇用を守るために、具体的に職場運動をつくり出していく必要を意思統一しました。職場の組合員と共にたたかいていくことこそがJR東労組運動の強化であり、私たちの実践で未来をつくり出していくことを確認しました。

盛岡地本では、「2020地本政策フォーラム」を各機関からの提言や盛岡地本の歴史を捉え返す中から、JR東労組のスタンスを

~黒字経営に向けた提言を議論し、組織の意志へ高めていこう~

2020政策フォーラム

日時 11月16日(月) 10:30~
 場所 イベントホール松栄 (仙台駅東口徒歩3分)

参加規模の縮小などのコロナ対策を行い、仙台地本準備委員会の仲間が「2020政策フォーラム」の成功を勝ちとるために現在奮闘しています。
 『雇用と職場を守るためのJR東労組緊急提言』の実現に向けて職場から実践し、JR東労組への再結集を呼びかけていきましょう。

「第33回再建委員会」の発言等に基づく申し入れを提出!

7月29日にJR東労組ジェイアールバス関東本部は「第33回再建委員会」を開催し、新体制を確立しました。再建委員会での発言や意見交換等の組合員の声を基に6項目にまとめ、10月13日に申し入れを提出しました。

ジェイアールバス関東本部

申し入れ項目

- ① 組合加入を理由とした不利益な取り扱いが行わず、健全な労使関係の構築の基、風通しがよく安心して働ける職場とする。
- ② 55歳以上の基本給減額制度を見直す。
- ③ 通勤手当の支給限度額を40km(19,200円)から50km(24,000円)と増やす。
- ④ 異動については、本人の希望を尊重すること。また異動を行う場合は、丁寧な説明で納得感が得られるように実施すること。
- ⑤ 浅間山の避難経路については、安全が確保できる状態で運行ができる体制を整えること。
- ⑥ タイヤ改正等で拘束時間・労働時間・実乗務時間が「やむを得ない場合」を適用した行路を作成する場合は、タイヤ改正を含めて提案し協議をしっかりと実施すること。

団体交渉の日程が決まり次第、組合員の声を基に精力的に議論を行っていきます!

赤ペン

コロナ禍で業績不振に苦しむ観光業界の救済のために開始された「Go To トラベル」事業が7月22日から開始され、遅れながらも地域共通クーポンの運用も開始された▼私はすでに3度利用しているが、ダイナミックパッケージ以外の手続きに煩雑さがあり苦勞をした。そのダイナミックパッケージツアーも決済後に割引率の適用に間違いがあり、決済がやり直されるなど旅行会社にも混乱が見られた。制度や利用手続きは、利用者にも事業者にも簡便な方が間違いは少なく、効果が良いのではないかと感じる▼訪れた宿は、残念ながら宿泊者があまりいない状態であった。その宿の仲間さんが「休業もしているし、うちはボーナスなしです」と想いを吐露してくれました。ニュースで見聞きするより重たい言葉であった▼私たちは「緊急提言」を基に政策フォーラムを結集軸に運動を進めている。単に赤字を目指すのではなく、共に働く仲間、支えてくれる家族のために何が出来るか、全組合員が赤字という認識を持ち、職場運動を通じて未来を切り拓き、仲間と家族の幸せをつくり出していきたいと思う。

(T・S)